

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第24回『「疾病を抱えた人を真心で支援する」～ 知性・感性・社会性 ～』

新渡戸稲造記念センター」、そして、恵泉女学園の理事会に向かう。共に、新渡戸稲造(1862-1933)に由来する。

「新渡戸稲造記念センター」は、2019年4月東京医療生活協同組合に設立された。『「新渡戸稲造記念センター」は、東京医療利用組合（現・東京医療生活協同組合）の初代組合長（理事長）である新渡戸稲造博士の志を日本の国内外へ広め、実践する拠点となります。センター長には、新渡戸稲造博士の専門家として本邦の第一人者で、新渡戸博士の志を継承して活躍されている樋野興夫先生が就任されました。東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院は、故新渡戸稲造博士・故賀川豊彦氏(1888 -1960) 4月23日)らにより1932年「東京医療利用組合」として創立された。2015年10月、当院設立の原点に立ち帰って、新渡戸稲造博士の精神を基にした医療を実践し、疾病を抱えた人を真心で支援することを目標とするため、「新渡戸記念中野総合病院」へ名称を変更しました。』と謳われている。恵泉女学園は1929年、『河井道が、「広く世界に向かって心の開かれた女性を育てなければ戦争はなくなる」と考えて創立しました。創立当初より聖書・国際・園芸を教育の柱に据え、生徒の知性・感性・社会性を育ててきました。』とある。

今週は、「中野ひだまりクリニック」主催の講演会（画像1）、「日本癌学会奨励賞受賞講演」の座長（画像2）、「岐阜県難病団体連絡協議会 第2回ピアサポート研修会」での講演（画像3）を依頼された。新渡戸稲造の精神で務める。

中野ひだまりクリニック主催

ひの おきお 樋野 興夫 先生 講演会

がん哲学外来

「がんの悩みを病院の外で心おきなく話したい」
がん哲学外来は、がん患者、経験者、ご家族のための対話の場です。
樋野興夫先生とゆっくり語り合ってみませんか。



樋野 興夫 医学博士
一般社団法人がん哲学外来理事長
癌研病理部、米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、
米国フォックスチェースがんセンター、癌研実験病理部長を経て
順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授に就任。
主な著書に「がん哲学」「がん哲学外来入門」「がん哲学外来の話」など。

日時 2020年9月30日(水)
14:00~15:00

参加費 無料

定員 10名様

会場およびお申込み・お問い合わせ先

中野ひだまりクリニック
在宅療養支援診

〒164-0003 東京都中野区東中野3-6-12

☎03-3368-0888 FAX050-3488-3361



院長 小見山 博光

担当: 石橋

The Young Investigator Awards Lectures

Room 10 Oct. 1 (Thu.) 13:00-15:30



YIA

The Young Investigator Awards Lectures

日本癌学会奨励賞受賞講演

Chairpersons: Okio Hino (Juntendo Univ.)
Masaki Mori (Dept. Surg., Kyushu Univ.)

座長：榑野 興夫 (順天堂大・病理・腫瘍学)
森 正樹 (九州大・院医・消化器・総合外科)

YIA-1 Development of diagnostic models for solid cancers using circulating microRNAs

Juntaro Matsuzaki (Diabetes Ctr., Univ. of California, San Francisco)

血中 microRNA による固形がん診断モデルの構築

松崎 潤太郎 (カリフォルニア大・サンフラン・糖尿病セ)

YIA-2 Exploring the biological roles of extracellular vesicles carrying nucleic acids in ovarian cancer

Akira Yokoi (Dept. Obst. Gynec., Nagoya Univ. Sch. Med.)

卵巣がんにおける核酸搭載細胞外小胞の機能解析と臨床応用

横井 晁 (名古屋大・医・産婦人科)

YIA-3 A novel metabolic pathway enhancing colorectal cancer growth

Kenji Ohshima (Dept. Pathol. Osaka Univ.)

大腸がんの増殖を促進する新たな代謝経路の解明

大島 健司 (大阪大・医・病態病理)

YIA-4 The past and future of cancer genome analysis platform

Yuichi Shiraiishi (Div. Genome Analysis Platform Development, Natl. Cancer Ctr. Res. Inst.)

がんゲノム解析プラットフォーム開発のこれまでとこれから

白石 友一 (国立がん研セ・研・ゲノム解析基盤)

YIA-5 Elucidation of the antigen-specific immunosuppression mechanism in the tumor microenvironment

Yuka Maeda (Div. Cancer Immunol. Natl. Cancer Res. Inst.)

腫瘍微小環境における抗原特異的免疫抑制機構の解明

前田 優香 (国立がん研セ・腫瘍免疫研究分野)

YIA-6 Tissue remodeling by positively selected clones in esophagus and colon

Nobuyuki Kakiuchi^{1,2}, Akira Yokoyama³, Motoi Uchino⁴, Takako Kihara⁵, Kotaro Akaki⁶, Yoshikage Inoue¹, Tomonori Hirano^{1,2}, Seiichi Hirota³, Hiroki Ikeuchi³, Osamu Takeuchi⁶, Satoru Miyano⁷, Hiroshi Seno², Seishi Ogawa¹ (Dept. of Path. & Tumor Biol., Kyoto Univ.,²Dept. of Gastroenterol. & Hepatol., Kyoto Univ.,³Dept. of Clin. Oncol., Kyoto Univ.,⁴Dept. of IBD, Div. of Surg., Hyogo Col. of Med.,⁵Dept. of Surg. Path., Hyogo Col. of Med.,⁶Dept. of Med. Chem., Kyoto Univ.,⁷Human Genome Ctr., the Univ. of Tokyo)

遺伝子変異クローンによる食道および大腸組織の再構築の解明

垣内 伸之^{1,2}, 横山 頌礼³, 内野 基⁴, 木原 多佳子⁵, 赤木 宏太郎⁶, 井上 善景¹, 平野 智紀^{1,2}, 廣田 誠一⁵, 池内 浩基⁴, 竹内 理⁶, 宮野 悟⁶, 妹尾 浩², 小川 誠司¹ (京大・医・腫瘍生物,²京大・医・消化器内科,³京大・医・腫瘍内科,⁴兵医大・炎症性腸疾患外科,⁵兵医大・病院病理部,⁶京大・医・医化学,⁷東大・医・ヒトゲノムセンター)

YIA-7 Development of new biomarker for pancreatic cancer based on epitranscriptome

Masamitsu Konno (Grad. Sch. of Med. Osaka Univ.)

エピトランスクリプトーム情報に基づいた新規膵臓がんバイオマーカーの開発

今野 雅允 (大阪大・院医・先進薬物療法開発学)

YIA-8 Elucidation of mechanism of near infrared photoimmunotherapy and its applied development research

Kazuhide Sato^{1,2,3} (Nagoya Univ. Inst. for Advanced Res., S-YLC,

²Respiratory Med., Nagoya Univ. Grad. Sch. of Med.,³Nagoya Univ. Inst. for Advanced Res., B3-Unit, AADIC/MEU (907))

近赤外線免疫療法メカニズムの解明と応用開発研究

佐藤 和秀^{1,2,3} (名古屋大・高等研究院 S-YLC,²名古屋大・医・呼吸器内科,³最先端イメージング分析セ(907))

YIA-9 Translational Research using Clinical Samples in Cancer Immunology

Yosuke Togashi (Chiba Cancer Ctr., Res. Inst.)

臨床検体を用いた腫瘍免疫のトランスレーショナルリサーチ

富樫 庸介 (千葉県がんセ・研)

YIA-10 Translational Research aimed at overcoming TKI resistance in lung cancers with EGFR mutations

Kenichi Suda, Tetsuya Mitsudomi (Div. Thoracic Surg., Dept. Surg., Kindai Univ.)

EGFR 変異肺がんにおける EGFR チロシナーゼ阻害剤耐性克服

を目指したトランスレーショナルリサーチ

須田 健一, 光富 徹哉 (近畿大・医・外科・呼吸器外科)

特定非営利活動法人 岐阜県難病団体連絡協議会
第2回ピアサポート研修会

「病との向き合い方のヒントを探ろう ～ がんの哲学外来から ～」
講師 樋野興夫先生（順天堂大学名誉教授）



令和2年10月3日（土） 午後2時30分～

会場：(JR 岐阜駅北)岐阜大学サテライトキャンパス

樋野先生の著書『明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』（2015.8 発行）に深い感銘を受けた、会の役員さんからのおすすめで、ご講演を依頼しました。「がんとか難病とか関係ないんだよ。これを読んでほんとに勇気づけられた。心にしみる言葉がいっぱいで、たくさんの人にこの言葉を伝えたいと思ったんだよ」と、付せんが たくさんついたその本をいつも数冊持ち歩き、いろいろな人にお話しお勧めされています。今回ピアサポート研修会でのご講演が実現しました。



1954年島根県生まれ。順天堂大学名誉教授、順天堂大学医学部病理・腫瘍学客員教授。新渡戸稲造記念センター長。一般社団法人がん哲学外来理事長。2008年に「がん哲学外来」を創設。